

おでかけひろばは、世田谷区の補助事業です。
無料でお越しいただけます。



開室の時は
オリジナルの
のぼりを立てます。

2023年に国分寺崖線の自然と
つながるようにおうちのまわりに植栽しました。
子どもたちと一緒に育っていく草花樹々です。
いろんな生きものがあるよ！

実生のエノキが
シンボルツリーになります。
20年後はどうなっているかな？

畑は近くの方がお世話しています。
どんな野菜があるかな？

もともとあったものを
捨てずに大切に使って
建てられたおうちです。

おうちの南側は道路予定地ですが、お花を植えています。
春と秋にみんなで一緒に植えましょう～

U字溝を使った階段を登れないときは
お手伝いするのでお声かけください。

あいている日

ごぜん10時～ごご3時

月・火・水



ときどき 木・土・日
月ごとカレンダーや
インスタグラムで確認してね。



えんつつのあるおうちです。

でんわ：070-4713-0205 世田谷区大蔵5-10-22



薪ストーブ
使って、作って、食べちゃう イベントもやります。

スタンド
グラス

静かに授乳したい方には
区切られた授乳スペース、
おむつ替えスペースもあります。

ゴジラ松を使った
カウンターとちゃぶ台

子どもたちが おとなになるころにも
自然とともに仲良く暮らせるように
考えて建てられたおうちです。

おでかけひろば
ゆるり



「らっこルーム」が
あります。

畳の部分は襖で仕切って個室となります。

赤ちゃんが産まれて全然休めていない方がいたら、
らっこルームをお使いください。

(世田谷区「ほっと一息事業」サイトはこちら

[https://www.city.setagaya.lg.jp/](https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/002/003/d00204263.html)

[mokuji/kodomo/002/003/d00204263.html](https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/002/003/d00204263.html)



「一人の子どもを育てるには、 ひとつの村が必要」というのは、 アフリカの言い伝えだそうです。

私は、2023年7月に建ったおうちを借りて「あめます舎」と名付けて住んでいます。この地域で娘を2人産んで育て、孫も産まれました。わからないことや辛いこともたくさんあったけど、たくさんの方に助けていただいて今、とっても幸せです。

「あめます舎」には、この地域で子育てしてきた人、現在子育て真っ最中の人を中心にいろんな人が集っています。ここで「おでかけひろば」を開くことができるととても嬉しいです。

私が住んでいるおうちなので不便なこともあるかもしれませんが、でもみなさんと仲良く使えたらいいなと思っています。アフリカの言い伝えのように、この地域が、子どもたちを育てることでひとつの優しい「村」になったらいいなと思います。いろんなことは、note「あめます舎日記」に書いていこうと思っているので、知りたい人は読んでみてください。そして「おでかけひろば ゆるり」にどうぞ来てみてください。



note あめます舎日記

<https://note.com/amemasusha>

2024年2月5日

おでかけひろばゆるり

運営 NPO法人せたがや水辺デザインネットワーク

村上ゆか



NPO法人
せたがや水辺デザインネットワーク

